

第1号様式

市民との意見交換会・報告書

開催地区：一箕地区	開催日時：令和7年11月13日（木）18時30分～20時10分
担当班：第3班（出席議員）成田芳雄、高橋義人、村澤智、丸山さよ子、渡部認	
開催場所：一箕公民館	
参加人数：男性 11名、女性 4名、合計 15名（他自治体等傍聴者 3名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
<p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 9月定例会議について ごみ処理の有料化や除雪について意見が出された。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 特になし。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ 地域防災</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 近年、地域で熊の出没が増加している。それにより今後、農業を辞める方が増えれば、耕作放棄地の拡大が進むことも懸念されている。災害も多様化してきている中、地域の安全・生活基盤の維持を考えていくためにも、本テーマを設定するものである。</p> <p>③ 主な地域課題 熊の出没が増えている。また、耕作放棄地が増加するという二次的な課題が発生しており、効果的な鳥獣対策の推進が急務となっている。市の明確な獣害対策ビジョンと電気柵設置等の具体的な支援拡大が必要ではないか。また、除雪車運行システムの停止など、地域防災に関わる防災インフラ運用体制の改善が急務であると考える。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年11月28日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 小倉 孝太郎

意見交換会第3班 代表者 成田 芳雄

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	議会だよりの内容について、ご意見、ご質問などあれば伺いたい。				
今後運用されるごみ焼却処理施設は、焼却炉が3基から2基へと減少することにより、ごみ処理の有料化が生じるのだろう。この点に関し、市議会として市に対する責任追及を行わないのか。	ごみ焼却処理施設は会津地域17市町村で作る会津若松地方広域市町村圏整備組合議会の中で、大きさや稼働量を決めた。会津若松市議会からは会津若松地方広域市町村圏整備組合議会の決定について責任を問えない。	○	①		環境
日本の法律では、道路管理者は雪が降れば速やかに除雪する義務がある。市が管理する市道部分の除雪が行われなかつたことについて、議会で議論し、市に責任を追及しないのか。	そのような質疑は行っていない。ご意見として伺う。	○	②		雪害対策
県立病院跡地の施設建設において、設計、施工、設備のD B O方式が採用されたが、15年間の運営を行う事業者が、入札と一緒に丸め込まれたように見える。運営能力のない事業者が落札したのではないか。なぜその事業者に決まったのか、選定方法に疑問があるのではないか。	事業者の選定については、審査会で審議した結果である。D B O方式は、民間業者のノウハウを活用することで、施設の建設費や運営費のコストを削減でき、効率的な運営が可能になると考える。	○	①		まちづくり

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
	まず地域防災について、地区での取組や課題があればお聞きしたい。				
防災士資格取得について、県が令和12年までに8,000人体制を目指す中、市は目標が不明確で、福島市など他市が実施している資格取得費用（6万円程度）の半額助成も行われていない。市として明確な方向性と助成制度を設けるべきではないかと思う。	防災士の資格取得費用負担が課題であることは市でも認識しており、現在は県による無料取得事業の動向を踏まえながら、他自治体の事例を調査し、助成導入を現在検討している状況である。	○	①		防災・安全
鳥獣対策（イノシシ、熊）について、市として「撲滅する」か「バッファーゾーンを整備する」かの明確なビジョンが見えない。地区では、会津大学と連携しAIカメラを活用している。AIカメラの効果を確認でき、松長の東から飯盛山までの電気柵設置も2,000万円ほどでできると聞いているが、具体的な施策を検討すべきではないか。	電気柵については令和7年度も補助対象として予算化しているが、予算が十分ではない。AIカメラを使った調査結果や優先順位を参考に、令和8年度に向けて議会として予算拡大を研究していく。	○	①		鳥獣対策
鳥獣対策において、地権者との話し合いや町内会の緻密な協力が柵の設置に最も重要であると考える。市では、地権者の協力が得られた際に、どのような補助を出すのか、他の地域で効果がある策は何なのかを、より緻密に検討し提示していくべきではないか。	地権者との話し合いや協力体制の重要性は認識しており、具体的な補助や効果的な対策についても、ご意見として今後の課題として頂戴する。	○	②		鳥獣対策
自主防災組織のリーダー研修会への会津若松市からの参加者は少ないが、防災を担う人材の育成について、市はどのような考えを持っているのか。	市では自主防災組織が少ない状況であるため、令和6年度から防災普及員を配置し、自主防災組織の設立を支援している。	○	①		防災・安全

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
一箕地区ひとみ創造ネットワークでの取組から、住民の防災意識の低さが最大の課題であると考える。市が作成する手引き（200ページ程度）や資料は複雑すぎるため、市として意識向上のための支援を強化すべきではないかと思う。	いただいたご要望をしっかりと受け止め、来年度からの新たな取組ができるよう注視していく。	○	②		防災・安全
防災士の資格取得費用（6万円から8万円）に対する市の補助がないことは問題である。交通費の負担もあり、個人レベルではなく、助成という形で行政が支援する仕組みがあれば、人材育成が広がっていくのではないかと思う。	ご意見として伺う。	○	②		防災・安全
住民の意識の低さという課題に対し、行政が具体的にどのような方法や手段で動くことができるのか。	市が各町内会に深く入るのは難しいが、区長の研修会などを活用して、防災について行政と地区が連携を図ることが重要であると考える。	○	①		防災・安全
防災意識の希薄さが課題であるため、一箕地区では令和8年度に向け、各町内に防災担当者を地区委員として置く構想を考えている。組織の運営責任者を明確化するため、町内から1名を出してもらうやり方は、有効ではないか。	情報提供に感謝する。	○	②		防災・安全
防災士の資格取得費用について、一箕地区ひとみ創造ネットワークで予算を出し、県の講習会参加にかかる費用をネットワークで充当することも必要ではないかと思う。	地区のネットワーク内で自主的に予算の充当を検討する動きは、大変前向きな取組であり、その意義は大きいと考える。	○	①		防災・安全
	一箕地区ひとみ創造ネットワークは、現在どのような事業活動を行っており、どのような効果が見え始めているのか。				

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ひとみ創造ネットワークでは各部会で事業が始まっており、文化祭の中でふくし部会と連携し、80歳以上の単身者に対する敬老会を兼ねた交流事業などを実施した。事業は3年間をかけて進めるものであり、現在動き始めたところである。 現在は事業が動き始めた段階であり、ネットワーク内の連携など、様々な課題を抱えながらも活動を進めている状況である。	ご意見として伺う。	○	②		防災・安全
飯盛山の旧参道に観光客の車両が無断進入し、先日、車が横転して観光客が肋骨骨折する人身事故が発生した。 旧参道の入り口に「観光客の車両は入れない」「この上に駐車場はない」など、一目でわかる標識を作つてほしい。看板がないと観光客に状況が伝わらず、混乱の原因になっているのではないか。数年前から要望している進入禁止の看板を早急に設置してほしい。	ご意見として伺う。	○	②		道路
防災の優先順位は「イノシシと熊」が最上位であり、市はその対策（柵やAIカメラの充実）を本気で進めるべきではないか。また、雪害への対策も重要だと考える。	災害に優先順位はつけられないが、地域によってイノシシ・熊や雪害が最優先となる課題があることを、我々も改めて認識させられた。	○	①		防災・安全
風水害や地震、火災に対する市民の意識は低い。大人よりも学校で訓練している児童・生徒の方が防災食の作り方などをよく知っていたことから、親子での防災体験を少しづつ実施していくべきではないか。	ご意見として伺う。親子での防災体験は食育にもつながるため、公民館事業などを活用していくことも、一つであると考える。	○	①		防災・安全

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
防災士の育成については、助成がないとしても、「自らで防災士資格を取ろう」という意識を地区の中から持ってほしいと考える。	ご意見として伺う。	○	②		防災・安全
鳥獣対策（熊、イノシシ）が進められても、作物が被害に遭うことで、特に若い世代が畑を諦めてしまい、結果的に耕作放棄地がますます増えていくことが最大の問題であり、耕作放棄地の増加という課題を認識すべきではないかと思う。	鳥獣対策が進む一方で、耕作放棄地の増加という問題が発生しているという点を、重要な課題と認識する。	○	①		鳥獣対策
飯盛山では、夜間も人がいるにもかかわらず表側には熊が出没せず、裏側ばかりである。これは線香の供養の煙が影響しているのではないかと考えられ、鳥獣対策の一つのヒントになるのではないかと思う。	ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策
鳥獣対策として、熊が嫌がる音が出るような防犯カメラを山間のあちこちに設置してほしい。	ご意見として伺う。	○	②		鳥獣対策
藤室鍛冶屋敷線の一部区間（国道121号線に接する区間）が整備計画がないまま放置されており、JR線の高架化計画も進行していない。速やかに整備すべきではないか。これは一箕地区の区長会で、市長との対話の時に要望書を出している。市長との対話集会では、藤室鍛冶屋敷線の整備計画について「今すぐに手を加えることはない」という回答だった。	ご意見として伺う。	○	②		道路

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
大雪時、既存の雪捨て場は1時間以上の渋滞が発生し、警備員も機能せず極めて危険な状態であった。一箕地区のふれあい広場を新たな雪捨て場として設置すべきではないか。既存の雪捨て場での排雪作業は、軽自動車と10トントラックが同じ場所で作業するなど極めて危険な状態にある。安全確保のためにも、ふれあい広場への雪捨て場の設置は必要ではないか。市には既に要望を伝えている。議会としてもこの要望を後押ししてほしい。	新たな雪捨て場設置の要望として伺う。後日、担当課に確認し報告書で回答したい。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P11に記載)	雪害対策
藤室鍛冶屋敷線の未整備区間について、市長との対話集会で市から「路線はそのままで継続検討」「今すぐに手を加えることはない」という回答があり、長年の要望が実現しないため「夢のまた夢」の状態ではないか。巨額の整備費用をかけた路線が、一部区間（高架化計画部分）だけ安全柵もなく放置されている現状は問題である。市長への意見提出も効果がないため、議会でなんとかもう少し強く当局に言ってほしい。	ご意見として伺う。	○	②		道路
公民館向かいの歩道で、植物がフェンスを覆い歩道の半分を塞いでおり、自転車同士のすれ違いが危険である。草刈り後も刈られた草が放置されており、このままではすぐにまた生えてくるため、きちんと草の片付けまで含めた整備をしてほしい。	植栽については、公民館職員経由で連絡を受け、10月19日には全て処理を完了した。草を枯らすために時間を置いたが、その点は対応すると聞いている。	○	①		道路

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
一箕中学生の通学路になっている大塚山の歩道がボコボコで水たまりができるので、自転車でも通りづらく危険である。この道路をなんとかしてほしい。	大塚山の通学路の状況についても把握しており、直ちに対応していくと担当課から聞いている。	○	①		道路
地域の要望（側溝の沈みなど）は、緊急性が低いと、要望してから実現するまでに4年もかかる、4回も5回も言わないと動かないなど、行政の優先順位の付け方や判断の仕方を見直すべきではないかと思う。	市に対し、議員から圧力をかけて依頼を行うことはない。緊急性を要する事案については、速やかに職員に現地へ向かってもらい、状況把握に努めている。	○	①		側溝
議会だよりがカラーになっているが、最近多額の経費がかかっているのではないか。また、色を多く使いすぎるとかえって見づらくなるため、以前のように2色や白黒にするなど、見やすさを考慮すべきではないかと思う。	2色刷りよりもフルカラーの方が安価な場合もある。広報広聴委員会で工夫し、見やすく作成している。	●	①		見える化
5月の意見交換会で大雪の際の検証を要望したが、十分な返答が得られていないと感じる。令和7年の2月の大雪では通行不能で帰宅できない事態が何回も発生しており、令和7年度も大雪が予想されるため、除雪体制をよく考えてほしい。 大雪時、滝沢峠入り口の信号機で通行止めになると帰宅困難者が多発する。役所対応に課題があるため、この特定の交通規制箇所について改めて解決策を検討すべきではないか。	ご意見として伺う。	○	②		雪害対策

○ 地区別テーマでの意見交換について → 地域防災

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの

【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
除雪車の運行システムが令和6年度の大雪時に停止したまま復旧せず、現在は除雪車の「今いる場所」しか分からなくなっている。このシステムは、サーバー負荷で止まるような脆弱性があり、早急な復旧と改善が必要ではないか。	ご意見として伺う。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後報告書P11に記載)	雪害対策
大雪後の検証で、現場の業者や地元住民から「どこが弱いか」という意見を吸い上げる機会が前回も希望されたが実現していない。システム改善のためにも、このような意見を吸い上げる場を設けるべきではないか。	ご意見として伺う。	○	②		雪害対策

市民との意見交換会・事後処理報告書

一箕地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 除雪車の運行システムの不具合について（P 8）	<p>【市民からの要望・質問】 除雪車の運行システムが令和6年度の大雪時に停止したまま復旧せず、現在は除雪車の「今いる場所」しか分からなくなっている。このシステムは、サーバー負荷で止まるような脆弱性があり、早急な復旧と改善が必要ではないか。</p> <p>【事後処理結果】 システム障害対策として、9月の補正予算で16,070千円を計上し、サーバメモリの増設とシステム検索の負担を軽減する予定だ。また、除排雪作業用のG P S機器を追加し、稼働状況が分かるようにシステムに追加することになっている。</p>	
2. ふれあい広場に新たな雪捨て場の設置について（P 10）	<p>【市民からの要望・質問】 一箕地区的ふれあい広場を新たな雪捨て場として設置すべきではないか。既存の雪捨て場での排雪作業は、軽自動車と10トントラックが同じ場所で作業するなど極めて危険な状態にある。</p> <p>【事後処理結果】 文化スポーツ課に確認。ふれあい広場は、体育館を含む施設等の利用者も一定数おり、要望のあった場所は施設入口付近であることから、施設利用者の安全確保を考えると、雪捨て場の設置は難しい、とのこと。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年11月28日

予算決算委員会委員長

小倉 孝太郎

意見交換会第3班

代表者 成田 芳雄